北九州市立障害者施設 第3回指定管理者検討会 会議録

1 開催日時 令和7年10月28日(火)15:00~17:20

2 場 所 北九州市役所 15階 15D会議室

3 出席者 (検討会構成員等)伊野構成員、門田構成員、

髙橋構成員、田村構成員、森構成員

(事務局) 保健福祉局障害福祉部長、障害者支援課長、

障害福祉施設係長、他1名

4 議 題

八幡西障害者地域活動センター及び洞海工芸舎、本城リサイクル工房、浅野社会 復帰センターに係る指定管理者候補の選定審査【一般公募施設】

5 会議内容

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局から説明
- 指定管理者候補の選定基準、採点の注意事項等について、事務局から説明
- 申請団体から提案概要に関してヒアリングと質疑応答

① 八幡西障害者地域活動センター

- (構成員) 放課後等デイサービスは発達障害の方のみか。送迎サービスの方の 年齢が70歳代とあったが運転は大丈夫か。
- (申請団体) 放課後等デイサービスには、発達障害をお持ちの方、知的障害をお 持ちの方がいる。送迎の運転手で75歳の者がいるが、運行状況は確 認しており、安全に運行している。
- (構成員)80歳代の職員の業務は何か。各サービスの配置人員は手厚いが、強 度行動障害の方が19名いる関係か。
- (申請団体) 80歳代の職員は送迎ではなく、日中支援の補助で主に木工作業を行っている。職員配置については、特に生活介護には強度行動障害の方が合計20名おられる。その一人一人に応じた支援をするため、職員配置を手厚くしている。就労継続B型も、4か所の施設外就労に行くため、その分、職員体制を厚く配置している。
- (構成員)利用率の目標値で、生活介護の9割に対して、就労継続は就労外も含めて120%との記載だが、もっと生活介護の利用率を上げる、あるいは就労継続の利用率を少し下げて、サービスの質を上げる選択肢はないのか。また、過剰な利用率で問題は生じていないか。加えて、現状の利用者満足度が、95%、91%とこれ以上は上げることが難しい中で、満足度に変わる指標を設けたりはしていないか。

(申請団体) 就労継続B型の利用率については、定員から除かれる施設外就労

の方を含めているため、十分に対応できると考えている。生活介護については、重度高齢化の方が亡くなったり、高齢の方が他の事業所に入所したりすることを加味している。ただし、それで利用率を減らしてよい訳ではないので、強度行動障害の方や新卒の方の利用や、グループホームの方の日中の場として利用を勧めていきたい。満足度に代わる指標は設けてないが、家族懇談会でしっかりと家族の方の声を聞く機会を設けており、そこは指標になると考えている。

- (構成員)強度行動障害のある利用者が落ち着いて活動できる環境づくりを行 うと記載されているが、強度行動障害が起こらないような工夫とはど のようなものかを具体的に教えてほしい。
- (申請団体) 2年前までは利用者が施設の中を走り回り、それを職員が追いかける状況があった。しっかりと個室化し、その部屋の中で一人一人のプログラムを組むことで、非常に落ち着いた状況となり、中には、ペットボトルリサイクルの仕事ができる方も出てきた。日本財団の支援を受け、パーテーションの整備や二重サッシにすることで、周りの音が静かになり、落ち着いて作業できるようになっている。
- (構成員)月額平均工賃について、過去4年間は1万5千円台の実績だが、工賃 目標額は1万8千円だった。今回目標を少し下げた理由は何か。
- (申請団体) これまでの農福連携作業では、得られる収入が少なく、少ない方は 工賃が2千円や3千円という状況だった。それにより近年工賃が下が っていた。今年度、農福連携事業を整理するとともに、施設外就労先や 施設内の作業を拡充し、工賃向上に取り組んでいる。

② 洞海工芸舎

- (構成員)八幡西障害者地域活動センターと比べて工賃がずいぶん高いのは、 施設外就労が理由と記載があった。工賃を上げるためにどのような取 り組みをしているのか。
- (申請団体) 工賃については、施設外就労の方が多いこともあるが、施設内就労を希望する方の工賃を上げるための見直しを行い、施設内でも1万円を超える工賃が支払えるよう底上げを行った。また、施設外で働くことに不安がある方でも、似た作業を施設内で取り組むことで、週1日、週2日でも参加してみようとチャレンジをする方が出てきた。そのようにして、工賃が上がってきたところである。
- (構成員)施設内と施設外で、工賃にどれぐらいの差があるのか。また、その工 賃の差で、利用者の不満はないのか。
- (申請団体) 低い方では、なかなか毎日来られず、1時間ぐらいしか参加しかできない統合失調症の方がいる。高い方は4万円を超える方もいる。ただ、施設内の平均が現在1万2千円ぐらいなので、3万円ぐらいの差に縮まっている。また、工賃の支給明細書に単価と参加時間を明示しているほか、個別支援計画の時に本人にも説明しており、理解しても

らっている。

- (構成員) 地域といろんな連携をしているが、逆に地域の方が施設に来るよう なことはないのか。
- (申請団体) コロナ前にはいろいろあったが、コロナ禍以降、今でも感染者が出ており、施設に来ることを控えてもらっている。今後は、近くの若松の中央公民館や同一敷地内のおもちゃ図書館と合同で避難訓練をするような形での関わりを持っていきたい。
- (構成員)利用者満足度の実績が非常に高く、満足度では活動の評価が難しくなっているが、事業所の中で満足度に代わる指標を設けているか。また、個別ニーズに対応して、苦情やクレームに近いものまで聞くと、スタッフの負荷や心理的なストレスも高まると思う。一方で、スタッフが結構定着しているとのことなので、どのようにケアをしているのか。ポイントや心掛けなどがあれば、教えてほしい。
- (申請団体) 別の指標は設けていない。個別支援計画や日頃の相談、毎月の当事者会で利用者の本音を探り、少しでも満足し、ここに所属したいと思える事業所を目指している。また、利用者も入れ替わりがあるので、いろんな意見が増えていくが、「施設長がスタッフと立ち話でも話す」、「悩みを出してもらい、連絡日誌をきちんとつける」、「施設長に愚痴をぶつけてもらう」ことで、改善が見えるように業務行い、職員も利用者も働きやすい職場を目指して頑張っている。
- (構成員) 家族との連絡では、洞海ニュースや連絡帳があるということか。また、就労支援B型の事業で様々な活動、例えば I T機器の解体作業や青果流通などされているが、その開拓はどのように行っているか。
- (申請団体)毎日の連絡については、連絡帳の受け渡しで行っている。また、家族から法制度や事業の変更で疑問があったりするので、毎月1回の洞海ニュースでタイムリーな情報を発信している。インフルエンザ予防接種の希望や感染症対策などについては、短信を出している。家族と直接会って話す機会はなかなか取れないが、このような情報発信で連絡を取り合っている。また、事業の開拓には2種類あり、洞海工芸舎での開拓のほか、法人のメリットを生かし、一事業所だけではなく複数の事業所で施設外の就労に参加することで多くの人材を派遣できるような場所を法人と協力して開拓している。

③ 本城リサイクル工房

- (構成員) 就労継続A型の施設ということで、最低賃金が上昇しているが大丈夫か。月額の平均賃金が15~16万円だったと思うが、パートはあまり勤務していなく、正規の職員が多いのか。
- (申請団体) 最低賃金は必ず遵守している。構成としては、正規の従業員が25 名、パートの従業員が3名となっているが、全員、時給換算でやっており、時給の上昇を見越した計画を立てている。さらに上がっていくと

見込まれるが、それがA型事業所の義務と考えている。

- (構成員)他と比べて満足度が低いが、理由は何か。A型事業所の利用者は元気 な方が多いと思うが、利用者同士のトラブルはないか。
- (申請団体)満足度のアンケートについては、基本的には本人に回答してもらっており、その時々の感情や気持ちで回答しているというところが大きいと思う。満足度はやはり給料だけではなく、トラブルなども影響している。コミュニケーションが苦手な方も多いので、利用者同士のトラブルや、言葉の行き違いなどの解決が満足度に繋がっており、お金だけで計れないところがかなりあると考えている。
- (構成員)利用者満足度だが、過去4年間の利用者満足度の目標値が85%に対し、令和8・9年度は80%に抑えている。令和6年度は81.9%だったのに、あえて抑えた背景を教えてほしい。他の八幡西障害者地域活動センターや洞海工芸舎は90%以上の利用者満足度を掲げているが、あえて80%に抑えた理由は何か。
- (申請団体)満足度はその時の状況や環境で大きく変わると考えている。かん びん資源化センターの老朽化に伴い、働く環境が厳しくなっており、 それを踏まえると、来年ぐらいまでは満足度が下がるかもしれない。 今、かんびん資源化センターの建て替え中で、新しい工場になって働 く環境が整えば、満足度が上がると考えている。
- (構成員)満足度について、八幡西障害者地域活動センターや洞海工芸舎は非常に高い数値の一方で、本城リサイクル工房はそれに比べ少し低く見えてしまう。障害の程度の違いもあるが、せっかく高い結果を出しているところがある中で、その取組や工夫、悩みの共有がどれだけ行われているのか。また、過去の満足度が69%から80%台まで回復しているが、これまで効果的な取り組みはあったのか。
- (申請団体) 法人内の事業所間の連携については、会議等で現場の状況の情報 共有をしている。リサイクル工房は、自主通勤ができる、好きなところ に自分で行けるなど障害の程度が軽度の方が多く、他の事業所とは違 いがある。参考になるところはあるが、障害種別や重症度が違うとこ ろで独自部分がある。また、満足度の回復については、令和3年度はま だコロナ禍で、楽しみにしていた旅行や外出活動などの外向きの活動 を自粛し、全体的に内向きだったが、少し状況が落ち着いたことで、外 向きの活動を増やし、そこからいろんな交流などが増えてきたところ が大きい。もう一つは、利用者と一対一で話す場面を設けた。嫌なこと も良いことも含めて、思いを職員と一対一で話す場を増やしたことが 満足度に繋がったと思う。
- (構成員)満足度だが、他の施設と違い、職場という雰囲気があり、自分で決定していく意思決定の場面もとても多いと思うので、満足度が割とはっきりと出ていると思った。一日作業している中でストレスなどをどのように解消しているのか。何かちょっとした息抜きなど、行っている

ことはあるのか。また、かんびん資源化センターが新しくなることについて、利用者の理解や準備は進んでいるか。

(申請団体)基本的には仕事がメインになるが、夕方、仕事が終わった後の時間に部会活動や職員との面談を行ったり、土曜活動の楽しみを話し合いながら、もやもやしたところを少し発散できていると考えている。また、法人の中では日明リサイクル工房のかんびん資源化センターの建て替えが先にあり、本城の作業環境はかなり暑く、騒音などもあるので、本城はいつなのかと建て替えをとても楽しみにしていた。実際に建て替えが決まり、日明の方を見学して、少し具体的にイメージができている。隣に建設中の工場を見て、楽しみにしている。

④ 浅野社会復帰センター

(構成員) 令和6年度の赤字の経緯を教えてほしい。

- (申請団体)大きな報酬改定と助成金の減等で大幅な減収となった。減収の要因としては、就労移行支援事業の基本報酬単価が下がったことがある。基本報酬単価の下落は、就職者の数が、年度で見ると変わらなかったが、算定期間がずれた関係で、就職者が少なく算定され、ランクが落ちてしまったところが要因と考えている。
- (構成員) 育児・看護等の休暇で15分単位の時間休を設けた理由を教えてほしい。また、LINEで連絡を取っているとのことだが、お互いの情報は洩れないのか。OB・OG会は当初から開催しているのか。
- (申請団体) 法人の勤務時間は、午前は3時間45分、午後は4時間15分となっており、その端数の時間が出た場合、1時間の時間休を取らざるを得なかったため、職員の希望で15分単位を設けた。また、LINEは法人用のものを使っている。基本的には、LINEでしか連絡を取れない利用者や寡黙があって話せない利用者とのやり取りの他、災害時の施設閉鎖などの情報を個別に連絡している。OB・OG会は当初から開催しており、コロナ禍でも縮小しながら継続してきた。
- (構成員)スポーツ活動など社会参加の促進の取り組みとして、いろんなオプションや活動を用意しているが、社会復帰についての考え方と、サービス内容の増やし方、あるいは減らし方の基本的な考え方があれば、教えてほしい。利用者のニーズに応じて、いろいろなサービスを展開されているが、満足度が大体80%から90%ぐらいと、ニーズに応じている割にはと感じる部分もある。利用者の考えを聞いているが、成果としては低く出ている原因や対策、やり方で工夫していることがあれば、教えてほしい。
- (申請団体) 浅野社会復帰センターという名前から、何をもって「社会復帰」なのかとの問いはもちろんある。就労継続B型や就労移行支援で活動している方が、家の外に出て、企業からの請負で実際に客が使うものを製造している。「施設通所がそのまま社会復帰ではない」と捉える方もいるが、活動自体が社会参加と考えている。絵を描いたり、飾ったりな

ど、そういったことも一般社会参加と思っている。サービスの選択については、利用者のニーズによって決めることがほとんどである。利用者がしたいこと自体は、社会参加や社会復帰と関係ないものもあるが、余暇活動で社会活動するための力や何か余裕を持ってもらう、地域で活動することに慣れてもらうことが重要で、直接関係はなくても、間接的には関係していると考えている。実際には、希望者が多い企画でも、結果として参加者2名など、希望と異なることがある。毎月の利用者ミーティングでのフィードバック以外にも、職員会議などで原因を探っているが、うまくいっていないとの認識はあり、試行錯誤している。

- (構成員)利用者満足度について、前回の過去4年間の目標値85%に対して、 令和6年度に就労継続で89.7%、就労移行で100%を達成して いる。今回もまた目標を85%とした理由は何か。90%でも良いの ではないか。目標値は上を目指すためのもので、必ず達成しなければ ならないという訳ではないと思う。
- (申請団体) 法人の尺度で目標値を謙虚に設定しているが、平均的に高い水準 を維持していく気持ちを込めて85%としており、さらに上を目指す ことも考えている。
- (構成員)障害特性によって、利用できたり、できなかったりと利用人数が増減 する中で工夫されていると思うが、リモートの活用はどうか。生活の リズムから考えれば、B型以外にも送迎サービスはあった方がいいと 思う。また、専門性が高い職員をどのように確保しているのか。
- (申請団体)精神障害の特性から外出時に公共交通機関や他者と一緒にいることが非常に不安な利用者がいる。当センターでは就労に特化し、就労継続B型での送迎サービスは行っていなかったが、交通費がかかり工賃の手取りがほとんどなくなってしまう利用者もいたため、送迎サービスやリモートでの作業を始めた。利用者の中には家から出ることが不安でリモートから開始される方もいるが、リモート一辺倒ではなく、徐々に通所につなげ、施設内や施設外で作業を行ったり、1人で安心できる場所で作業してもらったりしており、リモートのみの利用者はいない。また、人材確保は本当に難しくなってきているが、精神保健福祉士や社会福祉士を取得するための実習生を専門学校や大学から受け入れるようにしており、実習生がそのまま就職する形も多く、今後も続けていこうと思っている。
- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて、各自評価レベルを記入。 集計結果をもとに構成員全員で意見交換し、再度確認した上で評価レベルを決定。
 - ① 八幡西障害者地域活動センター
 - (構成員) 育成会はしっかりした体制で書類もほとんどマニュアル化されている。提案書の細かな点で分かりづらいところもあるが、皆さん努力されており、良かった。

- (構成員) 法人組織がしっかりしていて人員も豊富だが、正規とパートの比率が半々ぐらいなのが気になった。強度行動障害の方を多く受け入れていることを初めて知った。また、職員がいろんなところで講師をしていると聞き、もっと北九州市に還元してほしいと思った。身体拘束について文書で同意を取っていることは良いが、感染症対策では法的な部分だけしか書かれておらず、指定管理者としては担当課へ早急に連絡してほしい。
- (構成員) 法人として掲げている理念や方針に基づきしっかりと運営され、満足度も比較的高い事業所であり、継続して任せたい。収支計画を3施設とも人件費をほぼ一定としており、さすがに見込みが甘いのではないか。法人全体としての管理をどこまで行い、事業所として独自に何ができて、連携がどれだけ取れているのかという辺りでよく分からない部分もあった。色々と行っていることの良さが、もう少し発揮できると良いのではないか。
- (構成員) 長く法人の運営を行っており安心できる。今までの長い法人運営を見ると、どうしても報酬改定や人材不足の影響もあると思うが、事業の廃止や施設の閉鎖などもあっている。利用者や家族側からすると戸惑うところはあるが、法人運営をしていく上での戦略や人員配置の計画もあり、大切な部分に寄せているのだろうと思う。利用者には身体障害の方を始め、いろんな方がいるので、個々のニーズに対応していることはよく分かる。個別計画等の策定もきちんと行われている。朗読の読み聞かせを地域の方に来ていただいたり、家族も楽しめそうなクラシックライブの演奏会を行ったり、良い活動をされている。
- (構成員) 法人として長い実績と経験を持っており、また各評価項目において も評価できる取り組みが実施されているため、適合と考える。

② 洞海工芸舎

- (構成員) 当法人が運営する施設の中では、外に向かって頑張っていくという 形が感じられ、一番好感が持てた。
- (構成員)家族支援の基本的な考え方で、「家族と一緒に利用者支援を行う」という書き方が気になった。利用者といつも一緒にいる家族も、困っている人、悩んでいる人として、支援対象と考えてもらいたい。
- (構成員)高い満足度を出すなど、一生懸命に改善やサポートをして、良い結果 を出している施設と思うので、継続して任せたい。
- (構成員) 就労継続支援B型の方も、工賃が高く、いろいろとチャレンジしており、利用者のニーズに応じた支援を行っていると感じた。
- (構成員)利用者満足度が高く、特に就労支援での平均工賃が全国平均をかなり上回っている点は評価できると考えており、適合と考える。

③ 本城リサイクル工房

- (構成員) A型就労で、最低賃金を守る努力も見受けられ、問題ないと思う。工場の建て替えで、暑さ対策など、様々な点で作業環境が改善されるため、利用者にとっても良いと思う。障害者が努力し、継続して働くことは大変なことなので、その支援が一番望まれる。
- (構成員) リサイクル工場での作業は、利用者から「暑い、臭い、うるさい」と言われており、満足度に反映されていると思う。工場が新しくなれば、満足度も少し変わってくると思う。利用者は一生懸命働いており、工賃がモチベーションに繋がっていると思う。土曜日の振替があると嬉しそうにされていると聞いたので、就労として恵まれたところだと思う。場所が遠いにもかかわらず、バスを乗り継いで、途中も歩いて、頑張って通っている。どうしてもしっかりした方が集まると、休憩など仕事ではないところで利用者同士のトラブルがあると思うが、それもうまく対応していると思う。
- (構成員) 現状の満足度はやや低く、職場環境の改善で少し向上するのではないかとの説明だったが、障害の程度による自己決定・自己判断の部分が大きいということなので、それでどこまで満足度が上がるのかとは思う。様々な施設を運営している法人として、A型事業所を特殊と捉えずに、組織的なサポートをして全体の底上げをすると、もっと良くなるのではないか。これからもお願いしたい。
- (構成員) 仕事をする場であるA型事業所ということで、自主的な決定場面も 求められストレスも感じるだろうから、利用者の満足度はこれくらい が普通だと思う。今後の新工場の完成に期待をしている。
- (構成員) 福祉工場から長年の実績を積まれてきて、今に至っており、各評価項目においても評価できる取り組みが実施されており、適合と考える。

④ 浅野社会復帰センター

- (構成員)精神障害については、統合失調症や双極性障害など波が非常にあり 大変だと思う。障害者の方にとっては、親亡き後の生活が一番大切だ と思うが、そこまで考えて支援を行っている点が良かった。
- (構成員)市内では唯一の精神障害の施設というイメージを持っているが、施設を広く開放し、施設を利用してない方達も遊びに行くなど、社会貢献を行っていると感じる。また、OB・OG会もあり、職員が外部研修でファシリテーターをしたりするなど、地域の社会資源としての役割も果たしている。職員の年齢層が40歳代に集中しており、上手く世代交代してほしい。
- (構成員)障害者だけでなく、地域に対しても様々な活動をしており、これからもお任せしたい。法人の2期連続の赤字や、施設の直近1期の赤字が気になる。いろんな活動をやっている割に収益に結びついていないと

ころを少し意識していただきたい。

- (構成員)職員の能力もあり、外部での活動もしているのに、書面からはアピールが少し控え目と感じた。利用者の特性から、非常に難しい支援をしていると思うので、大変だろうが頑張ってほしい。
- (構成員) 長年、精神障害の方々を含めて、就労移行支援事業や就労定着支援事業に取り組んだ実績があり、今後もその取り組みに期待できることから、適合と考える。
- 各構成員の審査結果を取りまとめ、各施設の評価レベルを次のとおり決定。また、 全施設とも「付帯意見なし」と決定。

八幡西障害者地域活動センターの評価レベルは、指定管理者としての適正(1)管理運営の理念、基本方針は4、(2)人的・財政基盤は4、(3)実績・経験は4、管理運営計画の有効性(1)設置目的の達成への取組は4、(2)利用者の満足度向上は4、管理運営計画の効率性(3)指定管理料及び収入は3、(4)収支計画の妥当性及び実現可能性は4、管理運営計画の適正性(5)管理運営体制は4、(6)平等利用等は3、(7)社会貢献・地域貢献は4に決定。

洞海工芸舎の評価レベルは、指定管理者としての適正(1)管理運営の理念、基本方針は4、(2)人的・財政基盤は4、(3)実績・経験は4、管理運営計画の有効性(1)設置目的の達成への取組は4、(2)利用者の満足度向上は4、管理運営計画の効率性(3)指定管理料及び収入は3、(4)収支計画の妥当性及び実現可能性は4、管理運営計画の適正性(5)管理運営体制は4、(6)平等利用等は3、(7)社会貢献・地域貢献は3に決定。

本城リサイクル工房の評価レベルは、指定管理者としての適正(1)管理運営の理念、基本方針は4、(2)人的・財政基盤は4、(3)実績・経験は4、管理運営計画の有効性(1)設置目的の達成への取組は4、(2)利用者の満足度向上は3、管理運営計画の効率性(3)指定管理料及び収入は3、(4)収支計画の妥当性及び実現可能性は3、管理運営計画の適正性(5)管理運営体制は4、(6)平等利用等は3、(7)社会貢献・地域貢献は4に決定。

浅野社会復帰センターの評価レベルは、指定管理者としての適正(1)管理運営の理念、基本方針は4、(2)人的・財政基盤は3、(3)実績・経験は4、管理運営計画の有効性(1)設置目的の達成への取組は4、(2)利用者の満足度向上は4、管理運営計画の効率性(3)指定管理料及び収入は3、(4)収支計画の妥当性及び実現可能性は3、管理運営計画の適正性(5)管理運営体制は4、(6)平等利用等は3、(7)社会貢献・地域貢献は3に決定。

○ 検討会を終了